

平成 18 年度 播磨町水道事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

本年度の給水業務状況は、給水装置数が前年比で 238 栓(1.7%)増の 14,473 栓、給水人口で 37 人(0.1%)増の 34,252 人となりました。なお、年間有収水量は家庭用節水機器の普及、企業の節水意識の高揚等もあり、82,288m³ (2.1%)減の 3,864,462m³ となり近年減少傾向にあります。

水道施設の構築については下水道整備事業等に併せ、配水管布設替工事を施工し、また第3浄水場において管理棟の改修工事を施工しました。

経営状況(税抜)は、総収益が 570,271,546 円に対して、総費用が 607,007,926 円で、当年度純損失 36,736,380 円を計上しました。

水道事業収益の主なものは、水道料金 543,694,220 円で、収益全体の 95.3% を占めています。一方、水道事業費用の主なものは、企業債利息 72,184,608 円(11.9%)、減価償却費 220,384,413 円(36.4%)、職員給与費 67,304,603 円(11.2%)、県水受水費 71,554,800 円(11.9%)、動力費 43,416,047 円(7.2%) で費用全体の 78.6% を占めています。以上の結果、供給単価は 140.69 円、給水原価は 155.64 円になりました。

資本的収支(税込)の総収入額が 93,768,439 円に対して、支出が建設改良費 57,919,230 円、企業債償還金 263,646,647 円で、総支出額 321,565,877 円となりました。なお、不足の 227,797,438 円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

以上が、平成 18 年度における経営並びに事業実施の概要であります。今後におきましても、町民に清浄にして低廉な水の安定供給を図るため、水源の確保と経営の合理化及び経費の削減を図り、公共福祉の向上に努める所存です。